

埼玉県議会議員

無所属
県民会議

ももこ

41号

この桃子



facebook

【経歴】 昭和38年3月2日生、新曽小学校、頤栄女子学院中学校・高校、基礎義塾大学、基礎義塾大学大学院法律研究科(法務博士(専門職))、内閣府非常勤職員、国会議員公署秘書、戸田市議会議員(1期目3,148票、2期目3,468票、連続第1位で当選)、埼玉県議会議員(13,610票、戸田市初の女性県議として当選)**【所属】** 政党無所属、保育士、防災士、全国手芸検定1級、書道(師範)**【連絡先】** 〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F TEL/FAX: 048(235)5358 ホームページ: <http://konnomomoko.com/> メールアドレス: info@konnomomoko.com



令和4年度予算要望 大野知事に県政要望・地元要望を提出!

無所属県民会議として、大野知事に対し「令和4年度予算編成に対する予算要望」を提出しました。

- ①「新型コロナウイルス(ショック)からの回復」
 - ②「新しい時代を切り拓く公教育の推進」
 - ③「子供の命を守る施策への重点投資」
 - ④「気候危機に打ち勝つ埼玉県政」
- を4本柱に、合計600項目を要望しました。



要望提出 治水対策に関する要望を提出!

菅市長、細田県議とともに、埼玉県に対し「戸田市内の治水対策に関する要望書」を提出しました。

令和元年の台風19号の際には、川からの溢水等、市民生活を脅かす大きな水害が発生しています。

私も昨年9月定例会で、台風19号による水害対策を取り上げ、笹目川からポートコースへの取入水門の整備や事前のポートコースの水位調整等を看えていましたが、治水対策について国と県と市との連携が必要なことを改めて痛感しました。

引き続き、県と市との橋渡し役として治水対策を進めて参ります。



取入水門



菅市長、細田県議 このの



令和元年9月定例会

意見書 犯罪被害者等の特別休暇制度を提言!

意見書とは、地方公共団体の公益にかかわる事柄に關して、議会の議決に基づき、議会としての意見や希望を内閣総理大臣等に提出するものです(地方自治法第99条)。

私は、会派の政策審査会副会長として、これまで積極的に意見書の提案を提出してきましたが、残念ながらこれまで他会派の同意が得られず採択されたものではありませんでした。

今回は、池袋の乗用車暴走事故の被害者の方が、犯罪被害者等のための特別休暇制度を求めていることを報道で知り、それを後押ししたい思いで、趣旨の意見書を提案したところ、他会派の文言修正を経て、全会一致で可決されました。おそらく全国初とのこと。国が被害者の方の思いを汲み取り、制度化されることを切に願っています。



全会一致で可決

議案47号 意見書

犯罪被害者等のための特別休暇制度の議案に関する要旨

平成16年に犯罪被害者等基本法が成立し、我が国は、犯罪被害者とその家族(以下「犯罪被害者等」という。)の権利利益の保護を図るに社会的責務を向け取り組んでいるが、犯罪被害者等への支援は今もなお多くの課題がある。

東京・熊谷の乗用車暴走事故で犠牲となった被害者ご本人は、本年8月に、所屬する「関東文芸犯罪被害者の会(あいの会)」において、犯罪被害者等が「特別休暇」を取得できるように企業に働きかけるよう国に求める要望書を提出した。また、松永さんは「心と体の回復や経済圏への協力、業務と向き合う時間をいただきたい」と訴えている。

犯罪被害者等は、犯罪による身体的な被害を受けだけでなく、事件にあったことによる「精神的ショックや身体の不調、失業や就業負担などによる「経済的困難」、種族や性別への対応における「精神的・精神的負担」、うらみ部や報道による「精神的被害」といった「二次的被害」にさらされる。

一方で、犯罪発生後の捜査、検察、警察での対応、裁判への出席、精神的なダメージなどにより仕事に出席できなくなることがあり、また、心身の不調による仕事の進捗の低下や対人関係の支障などもありえることから、犯罪被害者等は仕事を休んでも認められる権利を確保し、回復に資することと少なくない(趣旨的説明)と述べている。

これを防止して、犯罪被害者等が仕事を続けられるようにするために、被害回復のための特別休暇制度の導入が強く求められている。

しかし、国が本年5月に公表した「令和2年度「仕事と生活の調和」の推進に関する特別委員会報告書(就業生活編)」によると、調査対象とした企業2,397社のうち、事件・事故に遭った本人や家族が自身の仕事を回復させるために一定期間、仕事を休むことができる「犯罪被害者等の被害回復のための特別休暇」を導入している企業は約1割(10%)にとどまり、さらに、「制度を知らない」「企業には1日(8時間以内)」にとどまり、犯罪被害者等の権利が十分に保障されていない企業での代替人材確保の難しといった課題があることとされている。

よって、国においては、犯罪被害者等が一日も早く働くことに復帰し、社会の中で再び活躍する機会を得ることができるようにするため、下記の事項を速やかに実施するよう強く要請する。

趣旨

1 犯罪被害者等の被害回復のための特別休暇制度を企業編 意見書

補正予算 新型コロナウイルス感染症対策等、総額約1,516億円の補正予算を可決！

第10号補正予算 約1,271億6,885万円

○今後の感染状況の変化も踏まえた感染対策体制等の確保・強化

- ・県民相談窓口体制 約6億137万円
- ・検査・感染対策体制 約1,020億9,853万円
- ・保健所の感染若フォローアップ体制 約17億8,857万円
- ・自宅・宿泊療養体制 約172億1,925万円
- ・ワクチン接種の副反応等の専門相談窓口体制 約2億7,848万円

○県内経済活動の回復とウィズコロナ・ポストコロナ社会への対応

- ・事業再構築支援センター（仮称）の設置による中小企業への支援 約3,620万円
- ・中小企業のオンラインによる販路開拓に向けた支援 約2,499万円
- ・DX推進支援ネットワークを通じたデジタル導入企業の支援 約971万円

○公共事業等の追加 適正工期の確保

- ・道路・街路事業 約48億6,680万円
- ・河川事業等 約2億4,490万円
- ・緑地整備費の査定 約1億8,253万円

第11号補正予算 約244億6,608万円

○新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止

- ・飲食店等に対する営業時間短縮要請等に伴う感染防止対策助金の支給 約244億5,927万円

要請期間：令和3年10月1日から
令和3年10月24日まで（24日間）

- ・飲食店等への営業時間短縮要請に係る現地調査 約681万円

<彩の国「新しい生活様式」安心宣言飲食店+認証>



電話番号 約: 0570-000-678
受付時間：平日 午前9時～午後9時
土日祝日 午前9時～午後6時

電子申請はこちら！

無所属県民会議 現場の声や当事者の思いを常に聞いて、県政に届けて参ります！

団体要望ヒアリング

初年は県内各団体の方々と直接お目にかかって、意見交換をさせていただいておりましたが、今年も緊急事態宣言下ゆえに書面やオンライン等を活用して行いました。

■レインボーさいたまの会

レインボーさいたまの会は誰もが安心して暮らせる”彩”の国を目指す団体で、LGBT交流会等を行っています。多様性を受容する地域社会のあり方等について意見交換をしました。



■連合埼玉

連合埼玉は労働者の労働環境の整備や待遇改善を図る団体で、安全・安心な暮らしやすい地域社会づくり等を行っています。地域経済・産業政策等について意見交換をしました。



児童養護施設勉強会

無所属県民会議主催の勉強会「社会的養護を知り、児童虐待を芽える」に戸田の会とともに参加しました。

一般社団法人「コンパスナビ」の方々や、児童養護施設で育った方々より、社会的養護についての課題・留意点や、当事者の声をお聞かせいただきました。

令和元年までは、虐待相談対応件数約9万件のうち、一時保護されるケースが約3万件、その後施設入所等の措置につながるケースが約5,000件だそうで、一時保護されても、約8割強の児童は家庭に戻されているということに驚きました。児童虐待を受けた当事者の方々のお話は胸が苦しくなると同時に、親を恨むことなく親の支援の必要性を語る姿に胸が打たれました。引き続き、児童虐待防止に力を入れて取り組んで参ります。



新型コロナウイルス感染症対策特別委員会

新型コロナウイルス感染症対策特別委員会では、石川忠義議員（久喜市）、岡村ゆり子議員（川口市）とともに、新型コロナウイルス感染症対策の第5波での取組みを振り返り、第6波に向けた対策を審議しました。

私からは、

■ 自宅療養者の個人情報の提供について

- ① パルスオキシメーターの貸与
 - ② 食料品・生活必需品の支給または購入代行
 - ③ ゴミ出しの代行
- の3条件を市が行うことを要件としているが、③ ゴミ出しの代行は感染のリスク等より負担が大きく、複数の市が難色を示している。任意条件にできないか、と質問しました。

これに対し、当初は県は市にゴミ出しの代行を求めていましたが、その後、任意条件に変更されました。

■ 「LINEコロナお知らせシステム」について

これまで30万件あまり発行したものの、陽性者と濃厚接触し



た可能性のある利用者への通知は1件のみ。同システムは「彩の国新しい生活様式安心宣言飲食店+（プラス）」の取得条件にもなっているが、早急に現状確認と見直しを、と求めました。

これに対し、正しく運用された結果と芽えており、今後も働きかけたいとの答弁がありました。

■ 今午更、感染不安から1日も出ない児童生徒数についてを質問しました。

これに対し、小学校63名、中学校26名、高等学校1名、特別支援学校87名との答弁があり、この問題は翌日のテレビ埼玉にて報道されました。

オンライン学習の充実や心のケア等引き続き対策を求めて参ります。



福祉保健医療委員会

新型コロナウイルス対策の実態を質疑！

福祉保健医療委員会では、松坂よしひろ議員（東松山市等）とともに、新型コロナウイルス感染症対策に関する補正予算（総額約2,19億円）について審議しました。

私からは、

- 新型コロナウイルス感染症県民サポートセンターの運営（約2億5,608万円）及び受療・相談センターの運営（約3億4,255万円）の運営状況
- 「LINEコロナお知らせシステム」（約273万円）の利用実績と濃厚接触の可能性のある利用者への通知実績
- 民間検査機関等へのPCR検査機器の整備への助成（約26億1,482万円）の実績と実態確認
- 入院支援機関の赤十字確保等への支援（約39億6,213万円）に際し、いわゆる「幽霊病床」の実態と対策
- 自宅療養者への適切な療養体制の確保（約39億6,492万円）に際し、新規契約先との契約関係（適切に業務委託を行えるか）の確認等を質問しました。



公社事業対策特別委員会

県営戸田公園の水草対策を提言！

公社事業対策特別委員会では、井上わたる議員（和光市）とともに、（株）さいたまアリーナ、（公財）埼玉県公園緑地協会、埼玉県住宅供給公社の3公社における改革の取り組みについて審議しました。

私からは、

- こども動物自然公園に新しく仲間入りした「クオッカ」の経済効果
 - 県営戸田公園の水草対策のこれまでの取り組みと今後の対策
 - 県営住宅の入居者死亡時の取り扱い、特に個人情報の市町村との共有を質問しました。
- 最後に

◆ 県営戸田公園の水草対策について、適宜現場の状況を確認し、施策利用に支障をきたす場合は地元自治体や関係機関と連携し、迅速かつ適切に対応することを提言しました。



街路樹を考える議員連盟

街路樹を考える議員連盟（会長：石川忠義議員（久喜市））では、「埼玉県街路樹マネジメント方針（令和3年4月作成）」について質疑応答いたしました。

県内には、高木4万7000本等をはじめ多くの街路樹があり、昭和から平成初期に植樹した木が太木化・老朽化しており、選定作業費や労務費等の上昇により全面的な維持管理が困難になっています。

限られた財源のなかで街路樹を適切に管理するために、管理の転換を図り総量を削減することが必要ですが、新たに植樹する際の基準はあるものの、撤去の基準がありません。

今後、撤去や間引きの基準を示す指針が必要として、「街路樹あり方検索会」が開催され、「埼玉県街路樹マネジメント方針」が策定されました。



街路樹を考える議員連盟

スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー勉強会

無所属県民会議でスクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカーの現状について勉強会を開き、私も毎月9月定例会でコロナ禍における高校中退者へのフォローや就職支援等について考えました。その中で、小中学校や福祉サービス等の面で市との連携を感じたため、戸田の会の皆さんと改めて勉強会を開きました。

実際の教育現場の方々をお招きし、スクールカウンセラー等の実情、ヤングケアラーの現状、小中高の連携、下登校児童・生徒の支援、学校と行政と地域のプラットフォーム作り等について学び、意見交換をしました。

私は、教育行政は教育委員会からのヒアリングや資料から学ぶだけではなく、現場の声を聞くことを重視しています。

特にスクールカウンセラー等の予算拡充を粘り強く考えて参ります。



教育行政勉強会 戸田の会

ご意見対応 皆さんからのご意見にひとつひとつ対応しています！

①氷川町交差点のポールが折れている

「氷川町交差点のポールが折れていて危険だ」とご連絡をいただきました。

該当箇所は県道なので、県の担当課に修繕を依頼するとすぐに撤去され、三角コーンを設置後、修繕していただきます。



氷川町

②上戸田交差点にカーブミラーを設置してほしい

「上戸田交差点の見通しが悪く、カーブミラーを設置してほしい」とご要望をいただきました。

現場を調査し、写真赤丸部分にカーブミラーを設置する等、安全対策を行うことを警察に要望しました。

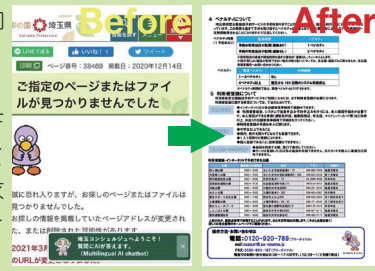


上戸田

③県有施設の利用登録メールに不備がある

「県有施設の利用登録の自動返信メールに不備がある」とご連絡をいただきました。

確かに添付されているPDFファイルのリンク先が切れていたため、担当課に改善を求め、すぐに改善していただきました。



④子どもの見守りサービスで子どもたちを守りたい

市内事業者の方から「自社の子ども見守りサービスを活用できないか」とお話を伺いました。

様々な子ども見守りサービスが提案・導入されていますが、市ではあまり普及していません。今後行政や関係機関に情報提供していきたいと思います。



見守りサービス

編集後記

11月に第二子となる男の子を無事出産いたしました。12月議会は産休をいただき、その後は体調を見ながら復帰したいと考えています。議員の任期中の妊娠・出産については様々なご意見があるかと思いますが、私自身が子育てと仕事を両立させることで、若い世代や女性も政治に参画しやすい環境をつくって参りたいと思います。 **金野 桃子**

皆さんのお声をお聞かせ下さい

皆さんからのお声が活動の源です。県政へのご意見・ご要望、レポートを読んだご感想等をお聞かせください。
〒335-0023 戸田市本町1-21-8-1F
無所属県民会議戸田支部 こんの桃子
✉ info@konnonomoko.com TEL/FAX 048-235-5358